

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語・イタリア語比較対照研究：「父／母」vs「padre／madre」
Author(s)	古浦, 敏生
Citation	ニダバ , 37 : 135 - 142
Issue Date	2008-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00044739
Right	
Relation	



日本語・イタリア語比較対照研究

— 「父 / 母」 vs 「padre / madre」 —

古 浦 敏 生

§1 はじめに

近年、日本語を学習するイタリア人も、イタリア語を学習する日本人も増加の一途をたどっている。このような経緯を踏まえて、筆者はここ数年来、日本語とイタリア語との比較対照を研究テーマとしている(注1)。

たとえば、「祖国・故国」のことを、日本語では「母国」とも言って、「母」が構成要素となっている。しかし、イタリア語では *patria* と行って、ラテン語 *pater* 「父」に由来する形容詞 *patrius* 「父の」の女性形 *patria* が *patria terra* 「父の土地」という表現を経て名詞化された語である。つまり、直訳すれば「父国」ということになる。但し、*madrepatria* 「【直訳】母父国」、*terra materna* 「母なる大地」という表現も存在する。したがって「祖国・故国」に対しては、日本語でもイタリア語でも「母」が意識されているが、イタリア語では「父」も意識されているということになる。

そこで本稿では、「父」・「母」を構成要素とする日本語語彙と、「padre」・「madre」を構成要素とするイタリア語語彙とを、名詞に限定して比較し、双方の言語の共通点・相違点を明らかにすることを目的とする。

§2 方法論

日本語には「父/母」を表わす語彙として「お父ちゃん/お母ちゃん」「父上/母上」「父君/母君」「父御/母御」などがある。また、イタリア語にも「padre/madre」のほかに「お父ちゃん/お母ちゃん」に相当する「*babbo, papà/mamma*(注2)」が存在する。本稿では表題にも提示したように、愛称・尊称・蔑称などのニュアンスを除去した「父/母」vs「padre/madre」という図式での検討に絞ることとする。

用例は巻末に掲載の国語辞典・和伊辞典・伊和辞典・伊々辞典・電子辞書から可能な限り収集することとし、さらに、以下の点にも配慮することとした。

- ① 固有名詞は対象外する。たとえば、「父島」、「母島」、「秩父」、「鬼子母神」、「Santa Madre「聖母」」。
- ② 『集英社 国語辞典』の分類表記として“文章語”とされているものは、日常的な語

彙とは言いがたいので対象外とする。たとえば、「岳父」、「悲母」、など(注 3)。

- ③ 『集英社 国語辞典』の分類表記として“専門語、特殊語”とされているものも、基本的には日常的な語彙とは言いがたいので対象外とする。たとえば、宗教用語の「教父」、統計学用語の「母集団分布」、言語学用語の「母音化」、など(注 4)。但し、テレビ・ラジオ、新聞などで比較的良好に用いられる若干のものは採用する。たとえば、数学用語の「分母」、統計学用語の「母集団」、言語学用語の「母音」、など(注 5)。
- ④ 『集英社 国語辞典』に見出し語として欠落している「父/母」語彙もかなり存在する。これらのうちテレビ・ラジオ、新聞などで比較的良好に用いられる若干のものは採用する。たとえば、「異母兄弟」、「異母姉妹」など(注 6)。但し、「異父兄弟」、「異父姉妹」は使用頻度が低いと思われるので対象外とする(注 7)。
- ⑤ 「雲母(うんも)」、「母衣(ほろ)」のように、「母」のイメージとは無関係に、音だけを借りている用例は対象外とする。

なお、用例は五十音順に並べ、「父/母」・「**padre/madre**」に該当する箇所には下線をほどこすこととする。また、イタリア語語彙には必要に応じて【直訳】を付することとする。

§3 用例

(A) 「父」を構成要素とする語彙

(1) 「父」を表わす形態が日本語にのみ存在する場合

大伯父=**prozio** 【直訳】先の伯父

大叔父=**prozio** 【直訳】先の叔父

伯父 = **zio**

叔父 = **zio**

義父 = **suocero**

漁父=**pescatore**

曾祖父 = **bisnonno** 【直訳】2回目の祖父

祖父=**nonno**

父兄 = **genitori e fratelli** 【直訳】両親と兄弟

父兄会 = **associazione dei genitori** 【直訳】両親の会

保父 = **maestro giardiniere** 【直訳】幼稚園の男の先生

(2) 「父」を表わす形態がイタリア語にのみ存在する場合

padrenostro 【直訳】我々の父 = 主の祈り

padre-padrone=家長

padreterno=お偉方

padronanza=主人の権威

padronato=使用者、雇用者

padroncino = 若旦那

padrone = 主人、雇い主、オーナー

padronissimo = 自主的に行動できる人

patria 「【直訳】父国」 = 祖国、故国

patrimoniale = 特に不動産についての資産税

patrimonio = 世襲財産、家督

patriota = 愛国者、同国人

patriottardo = 熱狂的愛国者

patriottismo = 愛国心

patriziato = 古代ローマの貴族階級

patrizio = 古代ローマの貴族

patrocinante = 弁護人、訴訟代理人

patrocinio = 弁護

patronato = 後援、支持、保護

patronessa = 女性後援者、女性スポンサー

patronimia = 父の名にちなんで名前をつける習慣

patrono = 弁護人、保護者、庇護者

(3) 「父」を表わす形態が日本語にもイタリア語にも存在する場合

実父 = il proprio padre

慈父 = padre affettuoso

神父 = padre, prete

父親殺し = patricida, patricidio

父権 = autorità paterna

父子 = padre e figlio 「【直訳】父と息子」

父母 = padre e madre 「【直訳】父と母」

養父 = padre adottivo

(B) 「母」を構成要素とする語彙

(1) 「母」を表わす形態が日本語にのみ存在する場合

乳母 = nutrice 「【直訳】栄養を与える女」

乳母車 = carrozzella per bambini 「【直訳】赤ん坊のための小さな車」

大伯母 = prozia 「【直訳】先の伯母」

大叔母 = prozia 「【直訳】先の叔母」

伯母 = zia

叔母 = zia

お母屋 = casa principale 「【直訳】主たる家」

義母 = suocera

空母「航空母艦」= nave portaerei 「【直訳】 航空機を運ぶ船」

酵母 = fermento, lievito

字母 = alfabeto 「【直訳】 アルファベット」

曾祖母 = bisnonna 「【直訳】 2回目の祖母」

祖母 = nonna

分母 = denominatore

母音 = vocale

母校 = 所有形容詞 + vecchia scuola 「【直訳】 (誰そのの)古い学校」

母港 = porto d'origine 「【直訳】 起源の港」、porto di base 「【直訳】 拠点の港」

母艦 = nave appoggio 「【直訳】 支えとしての船」

母子家庭 = famiglia senza padre 「【直訳】 父の無い家庭」

母子年金 = pensione per famiglie senza padre 「【直訳】 父の無い家庭のための年金」

母集団 = popolazione

母船 = nave appoggio 「【直訳】 支えとしての船」

保母 = maestra giardiniera 「【直訳】 幼稚園の女の先生」

寮母 = ispettrice del dormitorio 「【直訳】 寄宿舎の女性監督官」

(2) 「母」を表わす形態がイタリア語にのみ存在する場合

lingua madre 「【直訳】 母語」= 祖語

madrecicala 「【直訳】 セミ母」= セミの抜け殻

madrepora = イシサンゴ

madreselva = スイカズラ

madrevite 「【直訳】 母ねじ」= 雌ねじ

madrona = 上流階級の既婚夫人

materia = 物質、材料、原料

matriarca = 母系社会の女性

matricola = 登記簿・登録簿

matrimonio = 結婚

scena madre 「【直訳】 母舞台」= 舞台の見せ場

(3) 「母」を表わす形態が日本語にもイタリア語にも存在する場合

異母兄弟 = fratello di madre diversa

異母姉妹 = sorella di madre diversa

国母「天皇の母、皇太后」= regina madre 「【直訳】 母女王」

実母 = la propria madre

真珠母 = madreperla

代理母 = madre a noleggio 「【直訳】 レンタルの母」

母親殺し = matricida

父母 = padre e madre 「【直訳】 父と母」

母系 = linea femminile, matrilineare

母系社会 = società matriarcale

母権 = diritti materni

母語 = la propria madrelingua 「【直訳】 自分の母語」

母国「祖国」 = madrepatria

母国語 = madrelingua, lingua materna

母子 = madre e figlio 「【直訳】 母と息子」

母子手帳「母子健康手帳」 = libretto sanitario di maternità 「【直訳】 母子の保健衛生に関する小冊子」(注 8)

母性 = maternità

母性愛 = amore materno

母性本能 = istinto materno

母体 = il corpo della madre, corpo materno

母胎 = grembo materno, ventre materno

母乳 = latte materno

養母 = madre adottiva

老母 = vecchia madre

§ 4 分析

前節のそれぞれの用例数を集計した結果が以下の表である。

構成要素	父	母
日本語にのみ存在する用例数	11	24
伊語にのみ存在する用例数	22	11
日伊両言語に存在する用例数	8	24
計	41	59

この結果は以下の 4 点に集約できそうに思われる。

《結果 1》全体的には「父語彙(41)」よりも「母語彙(59)」のほうが多い。

《結果 2》「父語彙」に関しては、「日本語にのみ存在する用例数(11)」よりも「イタリア語にのみ存在する用例数(22)」のほうが多い。

《結果 3》「母語彙」に関しては、「イタリア語にのみ存在する用例数(11)」よりも「日本語にのみ存在する用例数(24)」のほうが多い。

《結果 4》日伊両言語に共通して存在する用例としては、「父語彙(8)」よりも「母語彙(24)」のほうが多い。

§5 まとめ

前節の《結果 1》と《結果 4》を踏まえて言及できることとして、「父」も「母」も同じ親であるとは言え、わが子を体内に宿し出産するという役割を担っている「母」のほうにより多くの語彙が存在することは当然である。

前節の《結果 2》と《結果 3》を踏まえて言及できることとして、日本語は「母」に、イタリア語は「父」に、よりイメージを膨らませている。

このほか、個々の具体例を精査してみると、日伊両言語の相違点が浮かび上がってくる。

- ① 日本語では区別されている「伯父 vs 叔父」・「伯母 vs 叔母」また「大伯父 vs 大叔父」・「大伯母 vs 大叔母」が、イタリア語では「zio vs zia」・「prozio vs prozia」と簡略になっている(注 9)。
- ② イタリア語では「セミの抜け殻」のことを *madrecicala* 「セミの母」と言って、「抜け殻」の中にセミの母体が意識されている。しかし、日本語では「空蟬」と言って、「空っぽであること」が強調されている。
- ③ イタリア語では「結婚」のことを *matrimonio* (ラテン語 *matrimonium* ← *mater* 「母」) と行って、「母となること」が意識されている。他方、日本語の「結婚」は「夫婦が縁を結ぶこと」であって、必ずしも即座に「母」のイメージとは結びつかない。
- ④ イタリア語では「祖語」のことを *lingua madre* と行って、「語派を形成する諸言語を生み出す母体」との意識が感じられる。一方、日本語の「祖語」には「祖先としての言語」との意識が感じられる。
- ⑤ イタリア語では「空母」のことを *nave portaerei* 「航空機を運ぶ船」と言って、航空機を運搬することに重点が置かれている。しかし、日本語の「空母」には航空機を船内に宿していることに重点が置かれている。
- ⑥ イタリア語では「父兄会」のことを *associazione dei genitori* 「両親の会」と言って、必ずしも「父」と「兄」に子供の保護者を代表させてはいない。日本語の「父兄会」には古い日本の男社会が感じられる(注 10)。

注

- 1) 古浦(2001)『日伊対照言語学研究』(『広島大学大学院文学研究科論集』第 61 巻、特輯号 2、73p.)。本書には「色彩語彙」・「文末表現」・「擬音語」・「否定接頭辞」の比較対照論文が含まれている。

古浦(2004)「指示形容詞の日本語・イタリア語比較対照研究—「この」・「その」・「あの」と「questo」・「quello」—」『ロマンス語研究』37 号、pp.11-20

古浦(2005)「日本語・イタリア語発話動詞比較対照研究」『広島大学フランス文学研究—原野昇教授ご退職記念特集号—』24号、pp.384-395

古浦(2006)「日本語・イタリア語比較対照研究—「行く/来る」vs「andare/venire」—」『Nidaba』35号、pp.75-84

古浦(2007)「日本語・イタリア語における温度形容詞の比較対照研究」『Nidaba』36号、pp.67-76

- 2)Mamma mia!「直訳」私のお母ちゃん!」には、驚きを表わす「うわあ、なんということだ」の意がある。筆者がローマの市バスに乗車中、バスが急停車したことがあった。立っていた若い女がよろけて、前に座っていた中年男の膝の上に尻餅をついてしまった。そのとき、彼女はMamma mia!と言った。
- 3)このほか、「父」を構成要素とするものとして、「家父」、「愚父」、「継父」、「厳父」、「高祖父」、「師父」、「親父(しんぶ)」、「世父」、「先父」、「尊父」、「乃父」、「父君」、「父御」、「父系」、「父系制」、「父性」、「父祖」、「老父」。「母」を構成要素とするものとして、「異母」、「家母」、「高祖母」、「慈母」、「生母」、「世母」、「亡母」、「母后」、「母指」、など。
- 4)このほか、「父」を構成要素とするものとして、「【宗】教父哲学」、「【宗】代父」。「母」を構成要素とするものとして、「【語】母音合一」、「【語】母音交替」、「【語】母音三角形」、「【語】母音字省略」、「【語】母音接続」、「【語】母音挿入」、「【語】母音組織」、「【語】母音調和」、「【語】母音分解」、「【語】母音変異」、「【化】母液」、「【版】母型」、「【語】母型記号列」、「【人】母系制」、「【語】母型文」、「【統】母集団変数」、「【統】母集団変量」、「【統】母数」、「【数】母線」、「【電】母線」、「【統】母標準偏差」、「【統】母分散」、「【統】母平均」、など。
- 5)このほか、「【軍】空母」、「【植】酵母」、「【語】母韻」、「【水】母船」、「【医】母乳」。
- 6)このほか、「父」を構成要素とするものとして、「父親殺し」、「保父」。「母」を構成要素とするものとして、「代理母」、「母親殺し」、「母艦」、「母系社会」、「母子年金」。
- 7)対象外となったもののうち、「父」を構成要素とするものとして、「阿父」、「異父兄弟」、「異父姉妹」、「家父長」、「家父長制」、「季父」、「従父」、「主父」、「諸父」、「世父」、「全父」、「族父」、「大父」、「父帝」、「父御子」、「天父」、「同父」、「農父」、「病父」、「父音」、「父系家族」、「父事」、「父執」、「父道」、「父老」。「母」を構成要素とするものとして、「阿母」、「季母」、「教母」、「賢母」、「後母」、「酢母」、「十母」、「従母」、「出母」、「酒母」、「珠母」、「主母」、「准母」、「丈母」、「庶母」、「水母」、「太母」、「代母」、「嫡母」、「同母」、「漂母」、「母岩」、「母教会」、「母兄」、「母性崇拜」、「母性保護」、「母銭」、「母斑」、「母法」。
- 8)『中国新聞』(平成19年9月3日朝刊、第7面)には「男性の育児参加を促そうと、「母子健康手帳」に加えて「父子手帳」を導入する自治体が全国に広がっている」との記事があった。

- 9)イタリア語における親族語彙のうち、多義語の例として *nipote* が挙げられる。これには「甥」・「姪」・「孫」・「甥の妻」・「姪の夫」の意がある。
- 10)近年では「保護者会」という表現もあると聞く。

参考資料

池田廉ほか編『伊和中辞典』第2版、1999年、小学館
岩波書店辞典編集部編『逆引き広辞苑』第五版対応、1999年、岩波書店
古浦敏生『イタリア文法・言語学用語辞典』1984年、文流
国立国語研究所『分類語彙表』昭和62年、秀英出版
小林信明編『新選漢和辞典』新版、小学館、昭和52年
坂本鉄男編『和伊辞典』白水社、1988年
新村出編『広辞苑』岩波書店、昭和42年
電子辞書 SR-E8000 +シルカカード・レッド DC-A05 IT、セイコーインスツル(株)
西川一郎編『和伊中辞典』1994、小学館
森岡健二・徳川宗賢・川端善明・中村明・星野晃一編『集英社 国語辞典』1993、集英社
Il Nuovo Zingarelli—vocabolario della lingua italiana, 1983, Zanichelli